

いわみざわの民話

第17回

いわみざわの民話は、平成9年に「いわみざわの民話」刊行委員会が発行しました。

彫り物師物語 ②

辰太郎少年は一度老人の名作をこの目でみたいと思った。しかし職人氣質のこの老人は、めつたに鑿をふるってみせることはなかった。ところがそつしたある日、老人に異様な変化が起こった。あの話好き、子ども好きの老人がびたりと人を寄せつけなくなつた。老人は痩せ始めいつそう無口になつて、ひどい孤独感が漂い始めた。しかし、それも、2、3日、ぼつぼつ老人に陽気が返り、しだいに活気をとりもどすと、長い長い苦悶と根気の日が続いた。



あつた。辰太郎少年は期待したが、出来上がったものはまことに荒削りで、わけのわからぬものであつた。それから話はずつと後年のことになる。あの戦争で、辰太郎さんは出征したが、敗戦後間もなく樺太から引揚げてきた。ところが何かの法要のときとみえる。偶然にも阿弥陀寺本堂の六間欄間で、この彫り物を発見した。その時辰太郎さんはアツと驚きの声

をあげたくらいである。直感でそれが海老江老人のあの彫り物とわかつたということである。しかしそれにしては何と立派なものである。あの時の彫り物の動きがこんなに生きているとは思わなかつたという。その彫り物には、紛れもなく海老江老人の製作であるという証拠のような、あの天女の顔があつた。じつとそれを見ているといつかあの時の娘、おさきさんにそっくり似てきたというのである。

それでは海老江老人が精魂をこめて彫つたものは、おさきさんへの愛情であつたのか。とすると天女はおさき天女であつたというわけである。

《完》

第18回は「砂金沢物語」を紹介します。

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課

ひとの動き 平成23年6月30日現在

●住民基本台帳 人 □ 総数 89,741人(前月比 - 96)
男 42,111人(前月比 - 49)
女 47,630人(前月比 - 47)
世帯数 42,448世帯(前月比 - 11)

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
☎ 0126-23-4111 ㊚ 0126-23-9977
ホームページ <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>
▶救急当番医ガイド ☎ 0126-23-5153
▶消防テレホンガイド ☎ 0126-24-0119